

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



昨年の新型コロナウイルス COVID-19 の世界中への感染拡大は多くの
人々の健康とグローバル経済に対する非常に大きな脅威をもたらしました。
未だ収束の兆しは見えませんが、我々富士通グループは社長の時田のもと
感染症対策の前線に立つ関連機関の皆様の協力要請に迅速に対応すること
は勿論、新型コロナウイルス感染拡大によって生じる社会課題の解決に向け、保有する知的財産権の無
償解放や、理化学研究所と富士通が共同開発したスーパーコンピュータ「富岳」活用への支援など様々な
取り組みを実施しています。

今年は新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されるなど明るい材料はあるものの、先を見通すこ
とは困難です。この困難で危機的な時代において、私たちは社会のなかで企業が果たすパーパス（目的）
がより重要になると考えています。私たちのパーパスはイノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです。そして四国に根ざした会社として地域社会をより豊かに発展
させていくことだと考えています。富士通四国インフォテックのビジネスをお客様や社会からより信頼
されるビジネスに変革させていくため、私どもは常にパーパスを確認しながらお客様のビジネスに貢献
していきます。

2021 年は十二支の「丑年」となります。「丑」という字は、発芽直前の曲がった芽が種子の硬い殻を
破ろうとしている形を表し、新たな希望が芽生える年になることを意味しているそうです。富士通四国
インフォテックは従前からデジタルトランスフォーメーション（DX）で、お客様に新たな価値をご提供
できるよう取り組みを進めております。今年は（芽生えの年として）これらの取り組みをお客様に見える
形にし、お客様の経営戦略における優先課題に応えていきたいと考えています。当社のみならず富士通
グループが持つノウハウ・スキルを最大限に活用し、新しい分野においても高品質なソリューション、
サービスをご提供し、お客様とともに成長してまいります。

四国に根ざして地域に貢献し、そして市場は四国から日本全国、そしてグローバルへ。
今後ますます重要になるお客様の DX の実現に向け、お客様との信頼関係を大切にし、お客様のベスト
パートナーとなれますよう一層努力してまいります。

本年も引き続き、富士通四国インフォテックをよろしくお願い申し上げます。

2021 年 1 月 1 日
株式会社富士通四国インフォテック
代表取締役社長 竹井 真素夫